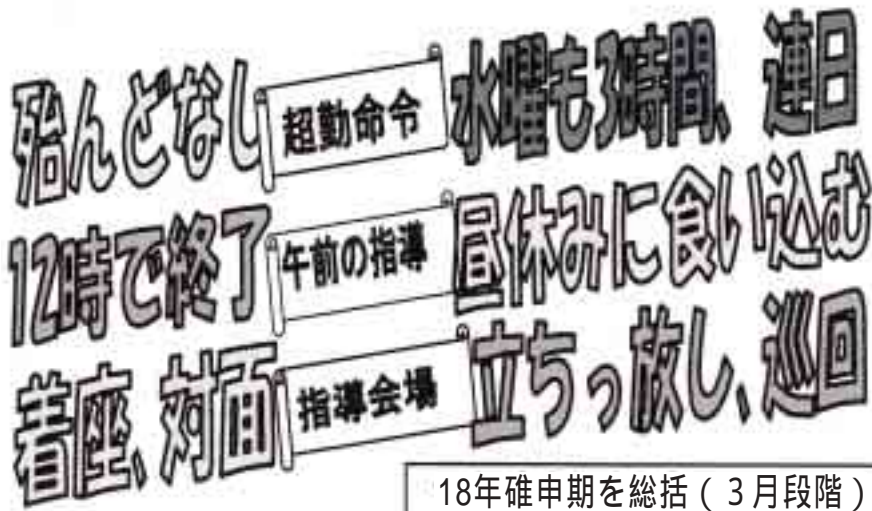


大企業・大金持ち優遇反対  
庶民増税・消費税引き上げは止める！  
官民共同で国民本位の財務・金融  
行政の確立と格差社会の是正を！



### 国民のための財務・金融行政を 求める4・12共同行動 せまる

当日は、30団体の仲間と霞ヶ関と大手町で早朝宣伝行動を展開、国民生活金融公庫やAIGスター生命等で社前行動、全国銀行協会、日本銀行、金融庁、財務省の要請行動後、「昼休み財務省前行動」に結集します。並行して、全国税は上京団や地連代表による国税庁交渉を実施します。



18年確申期を総括(3月段階)

幸いにして犠牲者は出さなかったものの、局間・署間で程度の差はありましたが、職員に過重な負担をかけた確申期でした。  
とりわけ、大都市周辺署を筆頭に、人手不足等による長時間・連日超勤(水曜日も3時間超勤命令を出した署も出現)、立ちっ放し・中腰指導、交替・休憩なしの指導、拘束時間の延長で、昼休み時間に食込む相談や超勤の延伸、外部会場設置による非効率的な問題



発行所  
東京都千代田区霞ヶ関  
財務ビル内(〒100-0013)  
全国税労働組合  
発行人 岡田 俊明  
電話(03)3581-3678  
FAX(03)3507-0886  
振替口座 00140-2-68514

「税務の職場」  
何でも110番  
zenkokuzei@aol.com

全国税は、職場で起こった問題を解決するため「税務の職場、何でも110番」を常時設置しています(電話とFAXは上記の番号までどうぞ)。

全国税ホームページ  
http://www.kokko-net.org/zenkokuzei

# 局署間「格差」は更に拡大

## 現場重視が鍵 た署の方が上手くいった

「税法遵守に穴が空く」環境に違和感  
個人・資産一体指導により、期中の訂正申告や



正してきました。しかし、審査事務体制が手薄なことや審査事務確保が困難なこと、さらに、調査事務確保のため期限直後事務の圧縮により、機械的な省略基準(高めに)定められました。職場では「税法遵守環境に穴が開く」との違和感をもちつつ、こうした方針にそって処理しているのが現状です。

チームが人力等の軸になる体制の署と確申期事務から独立した署に分かれています。  
個人課税職員が超勤する場合、個人課税出身の一元化担当職員だけが残り、他系統出身職員は退行する署がある一方、一元化担当職員は帰るなど「お達し」する署もありました。また、小規模署では一元化担当職員が3時間超勤する署も出ており、「もつ、逃げ出した」との声が強まりました。

### 現場の声と真っ向から逆行する庁押し付け

こつした中、近畿地連が署の実情によりいろいろな対応が取れる態勢を求めた大阪局では、いくつかの署でそういう対応が取られ、評価できます。(別記参照)  
来年に向け、局間、署間のアンバランスな人員配置の是正、ハイカウンターの廃止(使用を断念しない場合、立ちっ放し指導にならない配慮)、12時で午前の相談は終了する体制に戻す、2時間を超える超勤の禁止、外部会場の拡大をやめ、自署会場設置予算の確保、タッチパネルは廃止せず更新し、オフライン版も増設する、労働強化にならないeTax対応策策定、庁・局による画一的な押し付けをやめ、局・署の実情や独自性を重視し、納税者サービス拡充と矛盾しない計画と運営にしよう求めています。

事後処理対象は増加。さらに、自署申告やホームページ作成申告書が増加する中で、不完全申告や二重申告も目だつて増加しています。  
これまで、税法に抵触する誤りや翌年以降に影響を及ぼす誤り等は、「省略基準」以下でも是

納税者サービス公平に提供できない環境  
自書申告・作成を強調

したタッチパネル撤去など、納税者の求めるサービスを公平に提供できない環境となりました。オフライン版を性急に大量配備したため、タッチパネルと同様、「申告書第二表を記載させてオフラインへ」誘導する署も出ました。

「もつ逃げ出した」と一元化担当者の声  
一元化試行署での確申期事務は、プロジェクト

また、低い時給単価や過酷な業務を理由に途中で辞めたり、電話連絡で休暇をとる非常勤職員も出ました。

また、低い時給単価や過酷な業務を理由に途中で辞めたり、電話連絡で休暇をとる非常勤職員も出ました。

また、低い時給単価や過酷な業務を理由に途中で辞めたり、電話連絡で休暇をとる非常勤職員も出ました。

## 「現場力」いかした大阪局

【近畿地連】

完全流し込み・巡回指導とオフライン主体の相談体制は職場に混乱と疲労感を与えました。

署の独自性が発揮され、勤務時間の変更に

署の独自性が発揮され、勤務時間の変更に

署の独自性が発揮され、勤務時間の変更に

「手引きを読んで分からないから聞きに来たのだ。丁寧に教える」という納税者の要望には応えず、「いかに客を早く大量に捌くか」という庁の指示やマニュアルが現場の混乱を増幅させました。また、ハイカウンターで忘れ物が多発し、盗難事件が起きた署もありました。

「各署の実情により臨機応変な対応を」と申し入れた結果、A署ではオフライン主

「各署の実情により臨機応変な対応を」と申し入れた結果、A署ではオフライン主

「各署の実情により臨機応変な対応を」と申し入れた結果、A署ではオフライン主

持駒角  
経済小説作家の城山三郎さんが亡くなった。「大儀の末」や「男子の本懐」は経済という分野を超え、組織と人間を見つめる視野の大切さを浮き彫りにした。愛国の大義を信じた海軍での青春時代、理由もない体罰、芋の葉をかじる兵士を尻目に士官たちはトンカツを食らう姿を見てその気持ちは失せたという旗一つで人を煽り、絡めとるような動きに終身反対の声をあげ続けた。「大義名分の怖さ、組織の恐ろしさ、暗い青春を生きた証として残したい」という信念からであったことを知った。「戦争で得たものは憲法だけだ」とこれが氏を貫く思いであり、私たちに残そうとしたものだ。今の不穏な動きに忸怩たる思いがあったと察する。黙禱。

持駒角  
経済小説作家の城山三郎さんが亡くなった。「大儀の末」や「男子の本懐」は経済という分野を超え、組織と人間を見つめる視野の大切さを浮き彫りにした。愛国の大義を信じた海軍での青春時代、理由もない体罰、芋の葉をかじる兵士を尻目に士官たちはトンカツを食らう姿を見てその気持ちは失せたという旗一つで人を煽り、絡めとるような動きに終身反対の声をあげ続けた。「大義名分の怖さ、組織の恐ろしさ、暗い青春を生きた証として残したい」という信念からであったことを知った。「戦争で得たものは憲法だけだ」とこれが氏を貫く思いであり、私たちに残そうとしたものだ。今の不穏な動きに忸怩たる思いがあったと察する。黙禱。



# 要求にはダンマリ 暴走の一端

## 内部事務一元化試行問題

### 上意下達・独断専行の「13署拡大通告」



# 人減らし・人体実験の続行

# NO!

国税庁は、全国税が1月10日に提出した「内部事務一元化試行に関する要求書」に全く答えないまま、3月19日、「19事務年度において、13署拡大」を行う旨の通告をしてきました。まさに上意下達の典型であり、不誠実極まる通告に、全国税は強く抗議



近畿では、「なまはげ」が、試行3署を訪れ、「職員に降りかかる災厄の厄払いとこれからの無事」を祈り、要請行動を展開

### 現状での改善要求(要旨)

- 税務相談業務を内部事務一元化事務と切離す
- 試行署における内部事務一元化担当職員を大幅に増やす
- 研修体制を改善する
- 内部事務一元化担当職員の処遇に配慮する
- 携わる職員の諸要求を実現する
- アウトソーシングの拡大を止め、正規職員を増員して配備する
- 試行の中間総括、今後3年間の具体的目標を明らかにする



現場の声を黙殺する一方で、「試行は48署で十分」というこれまでの説明は棚上げし、「同じこと

現場の強い声となっていきます。しかし、当局が構想し押しつけている試行は、これに真つ向から逆行しています。

現場の声を黙殺する一方で、「試行は48署で十分」というこれまでの説明は棚上げし、「同じこと

組合は全国税しかなかった時代、国税庁当局はこの組合をつぶしにかかりました。それは、昭和36年2月26日の全国税局長会議の長官訓示で公然化しました。「庁としては、こうした職員団体の誤った行き方に対して断乎として対処していく方針であって、このため一次的に仕事におくれがでてもそれは表見的なことであって、根本的改善のためにはこれをおさるるに当たらない」と訓示した時の長官は、のちに東京銀行頭取に就

いた原純夫氏。第6代国税庁長官です。「差別的臭いもしない」と発言された福田進長官が大蔵省に入省されたのはその10年後。私が当局

その年でした。福田長官自身は、確かにこの悪巧みに関与することは不可能でしたが、のちに弘前税務署長を経験しており、国税庁当局のその異

官と全国税本部との交渉の席上です。組合側が、東京局の極秘資料を示します。勤勉手当の低率支給決定に関する文書で、組合加入欄がありそこに

局長の時か...」と言い、「わかったわかった。(差別政策を)変える。ただ、頭の古い管理者もいるからすぐにきれいになるかはあるが、是正に全力をあげる」(不当労働行為は)やっつけてはならない。

その年の7月には、大勢の組合員に上席昇任・昇格発令や特別昇給発令が行なわれました。名古屋局では急ぎよ差し替えたため、ポールペン書きの辞令が手渡されたほどでした。

## 拝啓 福田長官殿

3

岡田 俊明

## 例えば 安川元長官の場合

の全国税差別を目的としたら、正義感から、第二組合国稅務組を脱退して全国税に加入した翌年のこと。国稅専門官1期生が採用になった

常な労務管理に無頓着だったなら驚きです。昔話をもう一つ。福田長官が入省して4年目の75春闘さなか5月13日のこと、安川七郎第13代長

「A・B」とありました。当時「B組合」は全国税を示す当局の隠語でした。これに見入った安川長官が「これはいつの文書だ?」「あ、俺が東京

局長の時か...」と言い、「わかったわかった。(差別政策を)変える。ただ、頭の古い管理者もいるからすぐにきれいになるかはあるが、是正に全力をあげる」(不当労働行為は)やっつけてはならない。

その年の7月には、大勢の組合員に上席昇任・昇格発令や特別昇給発令が行なわれました。名古屋局では急ぎよ差し替えたため、ポールペン書きの辞令が手渡されたほどでした。



【東京地連】郵便で、Eメールで、ファックスで。イジメやパワハラの実態やその解消を訴える「悲鳴」が組合事務所に届けられている。職場で日々起きている出来事から「仲間たちと職場の今」がどうなっているのかを見つめる。イジメやパワハラなどの不条理に駆りたてるものの根源を問い、それにより何が切り裂かれ、何が切り裂かれようとしているのかを追跡する。

### その1 相互信頼と 敬愛の感情と

我慢 「俺はサ、これまで何人の付職員をやめさせたかな?」。調査官Aは異動後から何度同じ話を聞いたことだろう。初め

「お前は俺に恥をかかせたいのか。お前が勝手にやったんだろ、俺は知らないぞ」「署長、こいつはいつも、何の相談もなく勝手に相手と話を決めておいて、私の責任にしようとするのです」と息巻いた。

沈黙 常識をタテに統括官Dが続ける。「だいたい、今日のCさんとの同行だつてE上席の仕事じゃないの? なぜ統括の私が同行したの? E上席がやらないからでしょう。若手の指導は上席の職責でしょう」。

常識 とつづくに陽も落ちて暗くなった街並みを若手調査官Cに同行した統括官Dが帰署した。

「お帰りなさい。寒い中をご苦労さまでした」にこやかに出迎える上席Eの声に、口元をゆがめながらDが反応する。「ご苦労さま? あのねE上席、ご苦労さまでして誰にむ

「お前は俺に恥をかかせたいのか。お前が勝手にやったんだろ、俺は知らないぞ」「署長、こいつはいつも、何の相談もなく勝手に相手と話を決めておいて、私の責任にしようとするのです」と息巻いた。

沈黙 常識をタテに統括官Dが続ける。「だいたい、今日のCさんとの同行だつてE上席の仕事じゃないの? なぜ統括の私が同行したの? E上席がやらないからでしょう。若手の指導は上席の職責でしょう」。

常識 とつづくに陽も落ちて暗くなった街並みを若手調査官Cに同行した統括官Dが帰署した。

「お帰りなさい。寒い中をご苦労さまでした」にこやかに出迎える上席Eの声に、口元をゆがめながらDが反応する。「ご苦労さま? あのねE上席、ご苦労さまでして誰にむ

ようなDの口調がEの心に深く突き刺さる。「まア、E上席は円満な人柄だから若手に好かれるけど、円満だけではね...あつそつか、E上席は体型も円満だったか、アツハハ...」Dは少しだけ持ち上げ、そして突き落とし、軽口と冗句を装って面罵を締めくくった。

### 詰り棋

- 解説
- ▲1-1角成△同玉▲1
  - △歩△同玉▲1三金△
  - ▲1-1玉▲2二角△2-
  - ▲1-1二金△同玉▲1
  - 三飛成△2-1玉▲1-
  - 電まで13手詰。
- 解説
- ▲1-1角成が▲1二歩が好手順で、5手目▲1三金と出て▲2二角がねらいで、9手目▲1二金が決め手。以下飛車の活用でピッタリ。